

【開講日】令和2年5月20日(水)

三鷹サテライト教室

文化

三鷹

0201040a

【連続講座】中世の人物像—文学と歴史からのアプローチ— 第二弾

# 日野富子

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「中世の人物像—文学と歴史からのアプローチ—第二弾」全7講座お申し込みの場合10,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日程  5月20日	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全1回	定員		50名 (全7回講座と合算)
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学教授・日本古文書学会理事 <b>漆原 徹</b> (うるしはら とおる)				
	慶應義塾大学文学部史学科卒業 同大学院修士課程 博士課程修了 慶應義塾大学文学博士(史学) 山脇学園短期大学教授・図書館長を経て現職 武蔵野大学文学部教養教育部会・文学研究科教授 慶應義塾大学・日本女子大学講師 東京都港区文化財保護審議委員 西東京市文化財保護審議委員 日本古文書学会理事				
内容	日本史上悪名高い女性である日野富子の人物像を、具体的な事件の関与について説明しながら解説していきます。富子は足利将軍義政の正室として、応仁の乱の勃発に少なからず関与しています。富子と義政の間に男子が生まれなかった当初、富子の妹が嫁いでいた義政の弟義視を将軍に擁立しようとし、実子義尚が生まれると義視を排除しようとしたのでした。応仁の乱後も義尚が若死にすると、義植、義澄と次々と将軍擁立と対立を繰り返しました。また応仁の乱では、戦費調達に奔走する大名に金の貸付を行い、巨額な利益を得たことも知られています。関所を設けてその関銭収入を得ていたことで、一揆が関所を破壊したこともありました。また夫足利義政の乳母を竹生島に追放して自害させ、また側室四人をすべて追放するなど嫉妬深い女性の側面も見られます。しかし文明三年には、後土御門天皇と密通の噂が立つほど義政との関係は冷たくなりました。一方では寺社や朝廷への献金を行っていたこともあり、人物像の見直しを提案する近年の研究もあります。				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

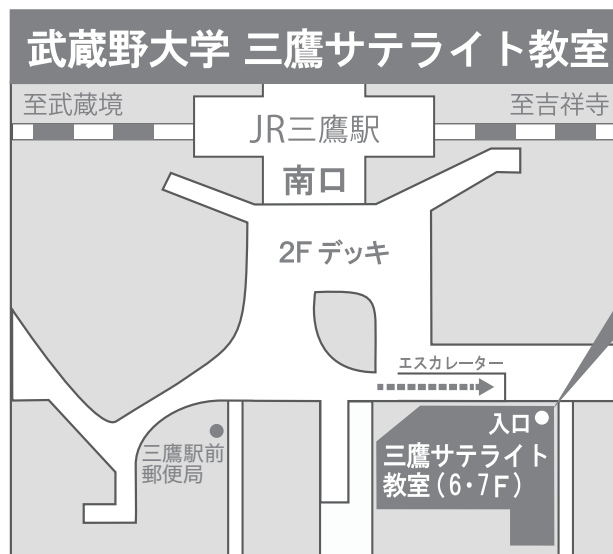
お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日: 月～金曜日 9:30～18:00  
: 土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 地域交流推進室

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。